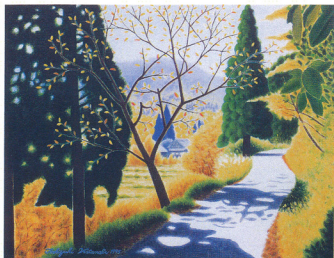


# 渡部利之展



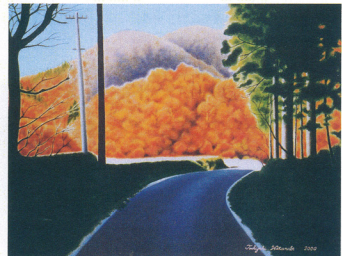
「ふるさとの秋」第12回BESETO美術祭北京展 国際友誼賞 1995年 P10



「秋のメロディ」レッドリボン芸術大賞 1996年 F80



「ふるさとへ続く道」第15回BESETO美術祭北京展 強健大賞 1996年 P15  
2007年香港返還10周年記念日中友好交流認定公式アートカレンダー画に採用



「ふるさとへ続く道・秋光・」 2000年 P15  
2008年/リ・京都友情盟約50周年記念公式アートカレンダー画に採用

## 「ふるさとへの愛を気付かせる」心象画家 渡部利之の大回顧展

永年にわたり、ふるさとへの想いを寄せて、独特の優しい“光”に満ちた心象絵画を連作して注目される人気作家の渡部利之氏が、この度ミレー友好協会フランス本部展でのヴァンセンヌ市長賞受賞を記念し、また新小国町誕生50周年記念事業として、故郷の小国町役場4階の特設会場において個展を開催した。

個展ではタイトルを「白い森ふるさと絵画展—渡部利之ふるさと絵画作品展—」と銘打って盛大に開催された。町を挙げての一大事業ということもあり大盛

況で、もちろん開催初日のヴェルニサージュでは主催者として小国町長・小野精一氏による名譽のテープカットも行われ、(新小国町誕生50周年記念事業)として位置づけられ、小国町が主催し、小国町教育委員会が共催するという、文化教育的内容も評価される催しとして大いに注目された。

実は作家の出自の地である村・沢中地区は、過疎化が進み、一昨年とうとう住む人もいなくなりました。その出自の村・沢中も含めた旧津川村と小国町が



オープニングテープカット  
渡部利之氏(左)と小国町長(右)